



環境経営レポート

(2019年10月～2020年9月)



2020年12月25日



ヨシムラ環境整備株式会社

1. 組織の概要

- (1) 事業者名：ヨシムラ環境整備株式会社
- (2) 代表者：代表取締役 吉村 学
- (3) 設立：昭和 55 年（1980 年）10 月 1 日
- (4) 資本金：320 万円
- (5) 所在地：

本社・工場：広島市安佐北区安佐町大字久地字堀切山 10625 番地 10 他

- (6) 事業内容：

産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業、一般貨物自動車運送事業

- (7) 事業の規模

- ①売上高および工事件数等

項目	単位	2019 年度
売上高	百万円	123
産業廃棄物処理量	収集・運搬	トン 2029
	中間処理	トン 1954

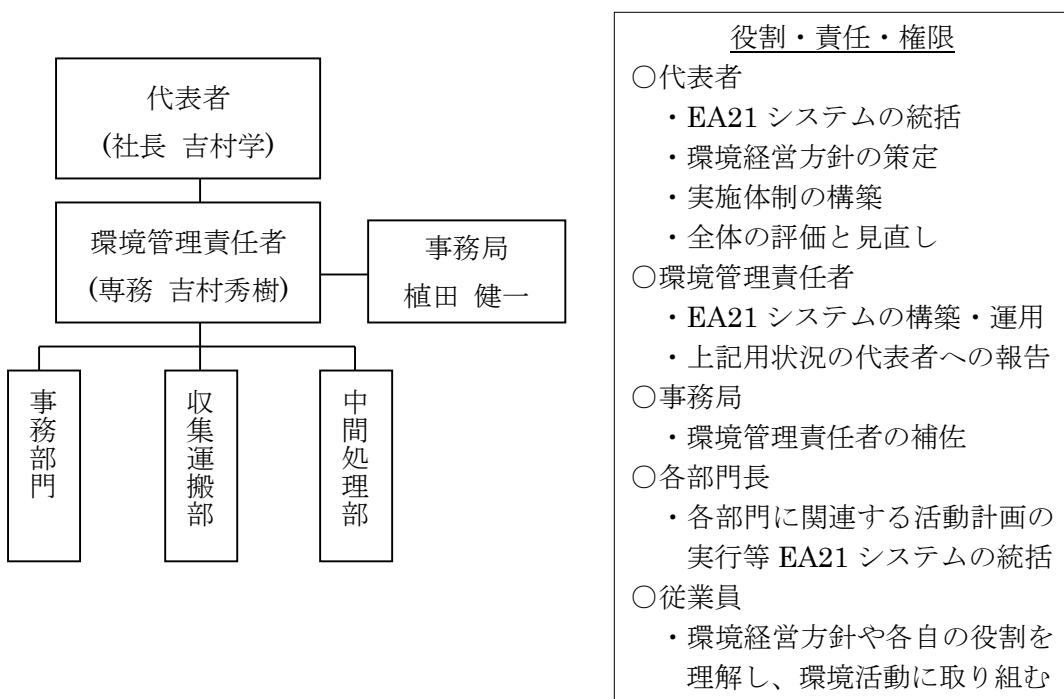
（注）事業年度：10 月～翌年 9 月（エコアクション 21 運用年度も同じ）

- ②従業員数：8 人

- ③床面積：本社事務所 29 m²、工場・作業所等 1802 m²

- (8) 連絡先：環境管理責任者 吉村 秀樹（TEL:082-837-1841）

- (9) 組織図



2. 対象範囲（認証登録範囲）

全組織・全活動を対象範囲とする。

3. 環境経営方針

本業である廃棄物処理を適正かつ安全に行うとともに、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

1. 環境影響に配慮した事業活動の推進

- ①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ②中間処理業務における再資源化率の向上に努めます。
- ③節水、グリーン購入に努めます。

2. 法規則等の遵守

事業に関する諸法令、規則、地域協定を順守し廃棄物の適正処理に努めます。

制定日： 2015年1月20日
改定日： 2020年10月1日

代表取締役社長 吉村 學

4. 環境経営目標、環境経営計画、環境経営目標の実績

(1) 環境経営目標

環境への負荷の自己チェックの結果などを踏まえて 2017 年度を基準として「環境経営目標」を以下のとおり定めました。

また取扱量の増減による電気及び化石燃料使用量の変動に伴う二酸化炭素排出量の増減に対応するため、当該項目において取扱量の単位あたりの目標値を設定することとします。

目標設定表

項目		2020 年度	2021 年度	2022 年度
電気使用量の削減 [基準：5.610 kwh/t]		△3% 5.442 kwh/t	△4% 5.386 kwh/t	△5% 5.330 kwh/t
化石燃料使用量の削減 ガソリン [基準：3.338 ℥/t]		△3% 3.238 ℥/t	△4% 3.204 ℥/t	△5% 3.171 ℥/t
軽油 [基準：26.479 ℥/t]		△3% 25.685 ℥/t	△4% 25.420 ℥/t	△5% 25.155 ℥/t
電気及び化石燃料使用に伴う 二酸化炭素排出量の削減 [基準：85.316kg-CO2/t]		△3% 82.757kg-CO2/t	△4% 81.903kg-CO2/t	△5% 81.050kg-CO2/t
再資源化率の向上 [基準：72%]		78%	80%	82%
節水 [基準：65 m ³]		△3% 63 m ³	△4% 62 m ³	△5% 61 m ³
グリーン購入の推進		5 品目以上	5 品目以上	5 品目以上

(注) 1. 電気使用量削減の基準値は 2017 年度同期間の実績値を同年中間処理量 (=1,724.4589t) で除した値、化石燃料使用量の削減基準値は 2017 年度実績値を同年収集運搬量 (=1,584.1295t) で除した値、節水の基準値は 2017 年度実績値とした。なお「電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量の削減」の目標値算出は、下記[表 1]の通りとした。

2. 一般廃棄物は、排出量が少ないとから削減目標は設定していないが、分別等の取組は徹底することとしている。
3. 化学物質は使用していない。

【表 1】基準年（2017 年度）における二酸化炭素排出量の原単位評価指標の設定

基準年：2017 年度	実数	原単位指標
電気からの二酸化炭素排出量 (Kg-CO ₂) ※	6,469.899	3.75184
中間処理量 (t)	1,724.4589	
化石燃料からの二酸化炭素排出量 (Kg-CO ₂)	129,207.819	81.56392
収集運搬処理量 (t)	1,584.1295	
□二酸化炭素排出量の総量 (Kg-CO ₂)	135,678	85.316

※中国電力の 2017 年度排出係数 0.669 kg-CO₂/kWh を用いて設定した。

(2) 2019年度の環境目標達成状況

項目	単位	目標値	実績	評価
電気使用量の削減	Kwh/t	5.498	5.779	×
化石燃料使用量 の削減	灯油	1.700	0.835	○
	ガソリン	3.271	3.851	×
	軽油	25.949	23.115	○
電気及び化石 燃料使用に伴 う二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO ₂ /t	83.610	75.445	○
再資源化率の向上	%	76	52	×
節水	m ³	63	59	○
グリーン購入の推進		4品目以上	4品目	○

上記、電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量実績は、75.445kg-CO₂/tとなり、目標値83.610kg-CO₂/tに対し、90.23%との結果となった。(購入電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力の2017年度の調整後排出係数0.677kg-CO₂/kwhを使用した。)また、実績値の算出については下記[表2]を参照のこと。

【表2】各項目の原単位評価指標への変換

2019年度	実数	原単位指標
(a) 電気からの二酸化炭素排出量 (Kg-CO ₂)	7646.038	(a)/(b)=
(b) 中間処理量 (t)	1,954.4228	(A) 3.91217 (Kg-CO ₂ /t)
(c) 化石燃料からの二酸化炭素排出量 (Kg-CO ₂)	145,190.3742	(c)/(d)=
(d) 収集運搬処理量 (t)	2,029.6991	(C) 71.53295 (Kg-CO ₂ /t)
□二酸化炭素排出量の総量 (Kg-CO ₂)	152,836.4122	(A)+(C)=75.44512 (Kg-CO ₂ /t)
(e) 電気使用量 (kwh)	11,294	(e)/(b)=5.77868 (kWh/t)
(f) 灯油使用量 (ℓ)	1,694	(f)/(d)=0.8346 (ℓ/t)
(g) ガソリン使用量 (ℓ)	7,817.03	(g)/(d)=3.85151 (ℓ/t)
(h) 軽油使用量 (ℓ)	46,916.01	(h)/(d)=23.11476 (ℓ/t)

5. 主要な環境活動計画の内容と取り組み結果の評価、次年度の取組内容

環境目標の項目毎の環境活動計画の内容と取り組み結果の評価を以下に示します。

(1) 電気使用量の削減

前年度は破碎機の過負荷予防や、電灯の一部を LED に更新するなど電気使用量の削減に努め目標を達成できた。

しかし、今年度は目標を達成できなかった。次年度は電灯をすべて LED に更新する事や、使用頻度少ない電気製品類のコンセントを抜くなど細かい節電を心掛け目標達成できるよう努力します。

(2) 化石燃料使用量の削減

① 化石燃料の使用に伴う二酸化炭素排出量は、2019 年度実績で全体の 94.997% を占めるため、その削減は重要課題と考えています。

② 灯油を使用する重機の省エネ運転で目標達成できたが、次年度は灯油を使用する重機を廃止します。

③ ガソリンを使用する営業車について、エコドライブの実践を試みたが、目標達成できませんでした。

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、人が込み合う公共交通機関での営業活動を控えた事も原因にあります。今後、ハイブリッド車など低燃費車の導入も検討します。

④ 軽油に関しては今年度も目標達成できました。引き続きエコドライブを心掛け CO2 削減の取り組みを継続します。

(3) 産業廃棄物再資源化の徹底

目標を 24 ポイント下回る結果となり、目標を達成できませんでした。

今年度、主に廃プラスチック類の新たなリサイクルルートを開拓したが、処理物の品質（金属片の混入(ボルト、ナット)など）の問題があるため受入れ先の基準に満たすことが難しく、埋立て処分量の削減（リサイクル率向上）に繋がりませんでした。

今後、それらリサイクル受入れ先の基準を満たす設備の導入や、分別の徹底を図ります。

(4) 節水

目標を達成できました。夏場、直射日光があたる工場敷地内的一部を遮熱シートで養生するなど敷地内の温度上昇を抑え、冷却に使用する水の量を減らしました。また熱中症予防にも繋がりました。

(5) グリーン購入の推進

目標値は達成しました。引き続きグリーン購入に取り組むこととします。

(6) その他の活動

会社周辺の清掃活動の実施や、一般社団法人広島県資源循環協会の取組への参加（*新型コロナウィルス感染拡大の影響もあり一部活動を自粛）、敷地内の自然環境観察などをしております。

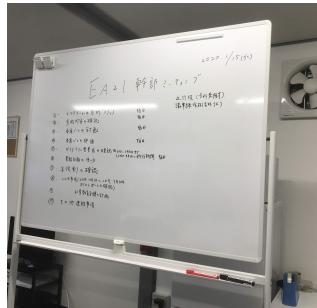
《具体的な活動内容の一例》

【会社周辺の清掃活動】



(ゴミ拾い)

【EA21 幹部会議】

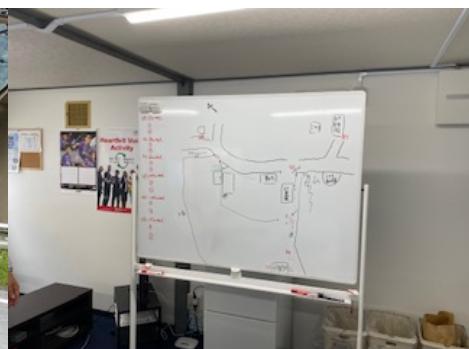


(社長・環境管理責任者・事務局)

【会社周辺の環境影響調査（騒音）】



(騒音測定)



(騒音結果)

【会社敷地内自然環境観察】



(冬の景色)



(敷地内自生の山菜)



(キセキレイのひな)

【事務所内掲示物】



(運輸マネジメントの取り組み) (運行管理者資格者証)

全員で環境にやさしいエコドライブを心掛けよう!		
わが社のエコドライブ実施状況チェック表	チェック項目	YES NO
	①走行距離は、タントドライブ	やさしい燃費を心がけるだけでは6%程度燃費が向上します
	②急減速していないか?	やさしい燃費を心がけるだけでは10%程度燃費が向上します
	③走行距離は、タントドライブ	タントドライブは燃費が悪化します
	④走行距離は、タントドライブ	タントドライブは燃費は6%程度燃費が悪化します
	⑤走行距離は、タントドライブ	適切に作動させることで2%程度燃費が改善します
	⑥走行距離は、タントドライブ	状況により(A/C)をONにしたままだと12%程度燃費が悪化します
	⑦走行距離は、タントドライブ	始動の場合はアイドリングは夏季3分程度、冬季5分程度で十分です
	⑧走行距離は、タントドライブ	運行管理者は燃費を測定する事
	⑨走行距離は、タントドライブ	空気圧の管理は燃費に関わることだけではなく、事故の元となりる
	⑩走行距離は、タントドライブ	運行する車両の燃費を把握しているか
	⑪走行距離は、タントドライブ	運行する車両の燃費を把握しているか(夏季のみ)
	⑫走行距離は、タントドライブ	運行する車両の燃費を把握しているか(冬季のみ)
	⑬走行距離は、タントドライブ	運行する車両の燃費を把握しているか
	⑭走行距離は、タントドライブ	交通の妨げになる迷惑車両を運転する事でエコドライブの実践に役立ちます
	⑮走行距離は、タントドライブ	各車、担当車両の燃費を測定すること
	合計	点/12点(実用日) 年 月 日 名前
ポイント このチェック表は、ドライバー各自3ヶ月毎実施し、毎回満了目標にしましょう。 ①このチェック表は、ドライバー各自3ヶ月毎実施し、毎回満了目標にしましょう。 ②このチェック表は、ドライバー各自3ヶ月毎実施しなければならない。もし車両に異常が見つからなければ運行管理者、整備管理者にその旨伝え、運行管理者、整備管理者は運行に異常が見られないよう適切な措置を行なう。		
(事業者) (運行管理者) (ドライバー) が三位一体となって「エコドライブの実施・『輸送の安全確保』を実践しましょう! ご安全に! <small>ヨシムラ環境整備株式会社</small>		

(エコドライブ実施状況チェック表)

【産廃収集運搬車両 兼 一般貨物自動車運送事業登録車両】



(産廃収集運搬車両表示)



(小型移動式クレーンタソフ仕様)



(小型移動式クレーン仕様)

6. 環境関連法規制等の遵守状況

適用される主な環境関連法規制は廃棄物処理法です。遵守評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間、当局からの違反の指摘や訴訟もありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

前年度よりの大きな問題点として再資源化率の向上、化石燃料使用の車両や重機の効率的運用がある。次年度は破碎機の更新、稼働率の高い営業車のハイブリッド車への更新を予定しており、エコアクションへの取り組みと経営資源とのバランスを取りつつ、プラス方向への改善を推し進めていく。

8. 廃棄物処理業に関する情報

(1) 許可の内容

①一般廃棄物

なし

②産業廃棄物

a 許可品目

許可品目	収集運搬業(上段:許可年月日 下段:有効年月日)						処分業 広島市
	広島市	広島県	山口県	岡山県	島根県	鳥取県	
	2018/10/12 2025/10/11	2018/11/24 2025/11/23	2019/10/13 2026/10/12	2018/10/1 2025/9/30	2018/9/5 2025/9/4	2018/9/1 2025/8/31	
燃え殻	○	○	○				
汚泥	○	○	○	○	○	○	
廃油	◎	○	○	○	○	○	
廃酸	○	○	○				
廃アルカリ	○	○	○				
廃プラスチック類	◎	○	○	○	○	○	○
紙くず	◎	○	○	○	○	○	○
木くず	◎	○	○	○	○	○	○
繊維くず	◎	○	○	○	○	○	○
ゴムくず	◎	○	○	○	○	○	○
金属くず	◎	○	○	○	○	○	○
ガラスくず等	◎	○	○	○	○	○	○
がれき類	◎	○	○	○	○	○	

○: 積替保管を含まない

◎: 積替保管を含む

b 許可番号

管轄	許可の種類	許可番号
広島市	産業廃棄物収集運搬業(優良)	07310010149
	産業廃棄物中間処理業(優良)	07320010149
広島県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	03409010149
山口県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	03500010149
岡山県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	03301010149
島根県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	03200010149
鳥取県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	03104010149

c 事業の区分

産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物中間処理業 中間処理(破碎)

(2) 施設等の状況

①設備概要

車両台数

車種	台数	備考
8t脱着装置付コンテナ車	2 台	
8tクレーン付ダンプ車	1 台	
3t脱着装置付コンテナ車	1 台	
3tクレーン付パワーゲート車	1 台	18年度増車
3tパワーゲート車	1 台	
1.5tパワーゲート車	1 台	
合計	7 台	なお別途営業車両1台あり

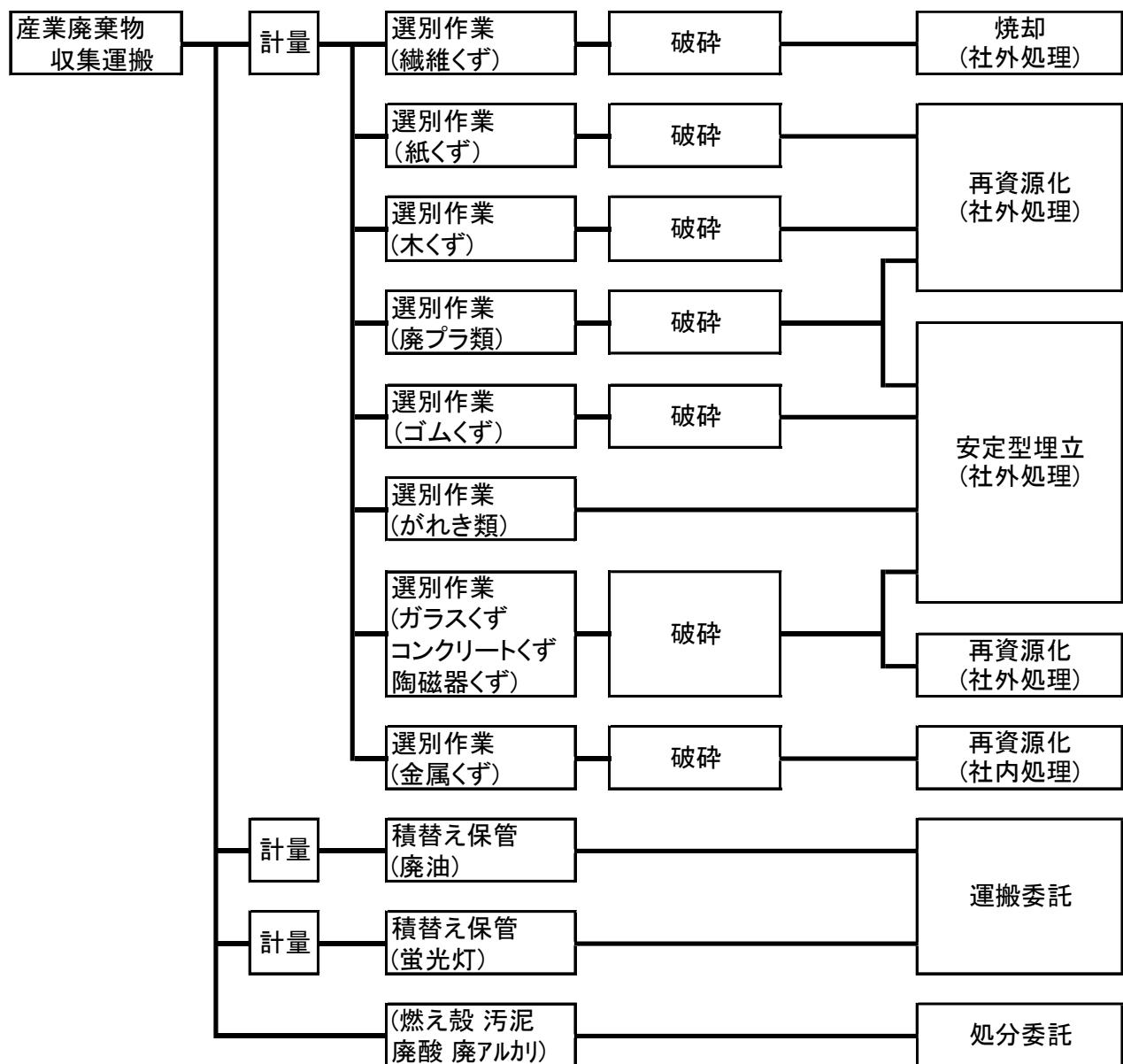
主要設備

名称	台数	備考
2軸せん断破碎機	1 基	
40t トラックスケール	1 基	
2t フォークリフト	3 台	
0.25m ³ バックホウ	3 台	

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限量	備考
ヨシムラ環境整備(株)	64.15 m ³	95.84 m ³	

処理工程図



(注) 処理能力は、廃プラスチック類 4.72t/日、紙くず 4.08t/日、木くず 4.72t/日、纖維くず 2.72t/日、ゴムくず 4.4t/日、金属くず 4.96t/日、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず 4.4t/日(8H)

(3) 処理実績

2019年度 (2019年10月 ~2020年09月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i) 収集運搬	コンクリートくず		1.5
	廃油		26.6581
	金属くず		678.79
	ガラス陶磁器くず		3.33
	紙くず		40.41
	廃プラスチック		1095.39
	木くず		137.85
	繊維くず		0
	ゴムくず		0
	がれき類		41.41
	燃えがら		0
	汚泥		0
	廃酸		0
	廃アルカリ		0.41
	石綿含有廃棄物		0.35
	小量使用製品生産廃棄物		3.601
収集運搬量合計			2029.6991
(ii) 中間処理	コンクリートくず	破碎	2.5
	金属くず	破碎	686.4661
	紙くず	破碎	13.99
	廃プラスチック	破碎	1112.6867
	木くず	破碎	138.78
	繊維くず		0
	ゴムくず		0
うち 再資源化等	金属くず		686.4661
	廃プラスチック		151.9
	コンクリートくず		0
	紙くず		13.99
	木くず		138.78
再資源化等量小計			991.1361
中間処理合計			1954.4228
(iii) 最終処分			0
			0
			0
最終処分量合計			0
(iv) 中間 処理後の 産業廃棄 物	最終処分	廃プラスチック	960.7867
		コンクリートくず	2.5
		ゴムくず	0
		繊維くず	0
	再資源化等	金属くず	686.4661
		廃プラスチック	151.9
		コンクリートくず	0
		紙くず	13.99
		木くず	138.78
	再資源化等量小計		991.1361
中間処理後処分量合計			1954.4228